

平成30年度吉野町の当初予算

◎ 予算編成のポイント

平成30年度当初予算は、3年目を迎える「第4次吉野町総合計画 後期基本計画」の各施策を着実に実行するため、より効果的な事業を展開できるように予算を配分しました。

◆【会計別の予算規模】

吉野町には、一般会計と5つの特別会計、1つの企業会計があり平成30年度の予算規模は次のとおりとなっています。

(単位:千円)

会計の名称	H30予算額	前年度比(増減額)	主な事業内容
一般会計	5,918,000	161,000	
特別会計	3,071,000	▲ 179,400	
国民健康保険	1,351,000	▲ 233,000	国民健康保険に加入している方の医療費を給付
介護保険	1,274,800	46,700	65歳以上の要介護・要支援者の方への保険給付、 介護予防・地域支援事業
保険事業	1,267,900	46,600	
サービス事業	6,900	100	
後期高齢者医療	162,000	11,600	75歳以上の方の医療費を給付
下水道事業	254,500	500	汚水管の整備及び維持管理
農業集落排水事業	28,700	▲ 5,200	汚水管の整備及び維持管理(香束地区)
公営企業会計	659,760	97,600	
水道事業	659,760	97,600	上水道区域への水道水の供給
全会計の合計	9,648,760	79,200	

◆【主な事業】

平成30年度に実施する主な事業内容は次のとおりです。

●政策1 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり

- ◇ベトナムフーター省の子どもとの交流を実施します。
- ◇小中一貫教育に向けた取り組みを推進します。
- ◇スクールバスを更新します。
- ◇吉野町中央公民館の耐震化を進めます。
- ◇関西ワールドマスタースゲームズのカヌー競技開催に向け、競技環境を整えます。
- ◇吉野町老人福祉センターの耐震化を進めます。

●政策3 安全安心で快適なまちづくり

- ◇自主防災協議会の活動に対する補助を行います。
- ◇通学路のカラー舗装を実施します。
- ◇空き家の活用を図るための各施策を推進します。
- ◇水道料金の負担軽減を図るため、引き続き現状の水道料金を維持します。

●政策2 自然・環境・産業が調和した持続可能なまちづくり

- ◇鳥獣害対策協議会へ、防護柵の設置や補修費用を引き続き補助します。
- ◇遊休農地を活用し貸農園を実施します。
- ◇観光看板の多言語化を実施し外国人観光客を誘致します。
- ◇バルセロナに建設するパビリオン用の資材を提供し、吉野材をアピールします。

●政策4 みんなでつくる吉野町

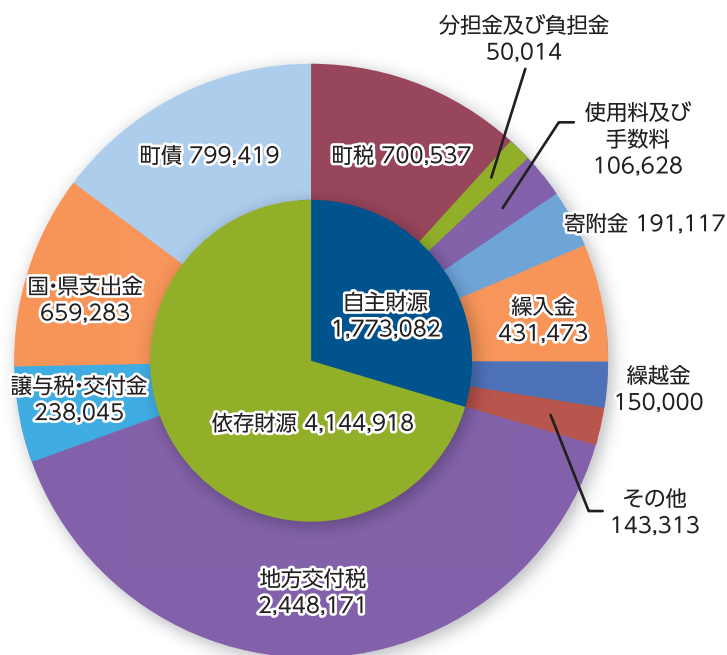
- ◇各地域での自治協議会設立に対する助成や、設立後の自治協議会への助成を行います。
- ◇集会所を改修し、農泊を推進します。
- ◇吉野山地区のまちづくり基本構想を策定します。
- ◇行政評価及び外部評価を引き続き実施します。

◆【一般会計の歳入予算】

平成30年度の一般会計の歳入予算は、項目別に次のとおり計上しています。

(単位:千円・%)

項目	説明	予算額 (予算構成割合)	前年比増減額 (前年比増減率)
自主財源	町が自主的に調達できる収入のことです。	1,773,082 (29.9)	67,936 (3.8)
町 税	皆さまが吉野町に納める税金です。	700,537 (11.8)	491 (0.1)
分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を利用者の方などに負担していただいているお金です。	50,014 (0.8)	1,713 (3.4)
使用料及び手数料	施設の利用や、各種証明書の発行の際にいただいているお金です。	106,628 (1.8)	▲ 1,567 (▲1.5)
寄 付 金	町に対する寄付金で、使い道を指定しない一般寄付金と使い道を指定した指定寄付金があります。	191,117 (3.2)	44,792 (23.4)
繰 入 金	各種基金(預貯金・運用資金)を取り崩して使うお金です。	431,473 (7.3)	30,559 (7.1)
繰 越 金	前年度の決算で生じた余剰金を、次年度の歳入に編入するときの収入をいいます。	150,000 (2.5)	▲ 50,000 (▲33.3)
そ の 他	不動産の売払いや公有財産の運用等による財産収入、どの科目にも属さない延滞金・雑入などの諸収入です。	143,313 (2.5)	41,948 (29.3)
依存財源	国や県から入ってくるお金や町債(借金)のことです。	4,144,918 (70.1)	93,064 (2.2)
地方交付税	一定の行政水準を保つために、国から交付される交付金で、「普通交付税」と「特別交付税」があります。	2,448,171 (41.5)	▲ 10,241 (▲0.4)
譲与税・交付金	皆さまが納めた税金を一定の基準に基づき配分される交付金で、地方消費税交付金、自動車取得税交付金等があります。	238,045 (4.0)	25,706 (10.8)
国・県支出金	特定の事務事業に要する経費の財源として、国や県から交付される負担金・補助金などです。	659,283 (11.1)	23,184 (3.5)
町 債	特定の目的のため、国や銀行などから借りるお金です。	799,419 (13.5)	54,415 (6.8)
合 計		5,918,000 (100.0)	161,000 (2.7)



歳入の内訳(単位:千円)

◎ 歳入予算の特徴

○歳入の構成をみると、自主財源が歳入全体の29.9%、依存財源が70.1%となっており、依然として厳しい歳入状況になっています。

○町税は49万1千円(0.1%)の増で、前年に比べ横ばいで推移しています。

○町債(借金)は、前年に比べ5,441万5千円(6.8%)の増となっています。

◆【一般会計の歳出予算】

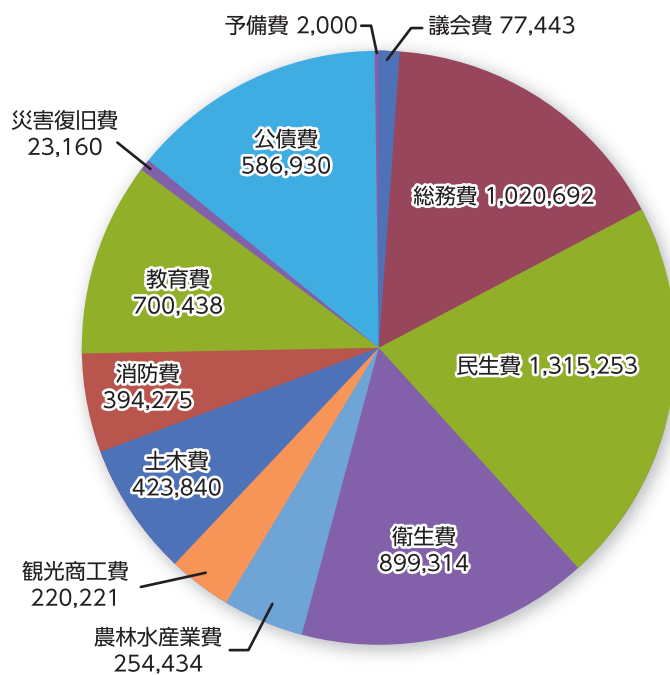
平成30年度の一般会計の歳出予算は、目的別に次のとおり計上しています。

(単位:千円・%)

目的名称	説明	予算額 (予算構成割合)	前年比増減額 (前年比増減率)
議会費	議員の報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営に係る経費です。	77,443 (1.3)	1,617 (2.1)
総務費	庁舎等の管理、財政管理、町税の賦課徴収、戸籍、電算、選挙、統計などの経費です。	1,020,692 (17.2)	▲ 221,229 (▲21.7)
民生費	こども園、学童保育所の運営経費や医療扶助、国民健康保険、介護保険の支援に係る経費です。	1,315,253 (22.2)	102,071 (7.8)
衛生費	医療、健康増進、公衆衛生、ごみなどの一般廃棄物の収集処理に係る経費です。	899,314 (15.2)	26,212 (2.9)
農林水産業費	農林漁業の振興に係る経費です。	254,434 (4.3)	56,769 (22.3)
観光商工費	観光振興、商工業振興などに係る経費です。	220,221 (3.7)	3,831 (1.7)
土木費	道路、河川、住宅などの各種公共施設の整備、維持管理、都市計画などに係る経費です。	423,840 (7.2)	▲ 182,424 (▲43.0)
消防費	火災、風水害、地震等の災害から町民を守るための経費です。	394,275 (6.7)	35,961 (9.1)
教育費	学校、社会教育施設の建設・維持管理、生涯学習、文化財保護など教育行政に係る経費です。	700,438 (11.8)	317,343 (45.3)
災害復旧費	被災施設の復旧に要する経費です。	23,160 (0.4)	▲ 110 (▲0.5)
公債費	過去に借り入れた借金の返済に係る経費です。	586,930 (9.9)	20,959 (3.6)
予備費	緊急時に支出を要する場合の経費です。	2,000 (0.1)	0 (0.0)
合 計		5,918,000 (100.0)	161,000 (2.7)

◎ 歳出予算の特徴

- 総務費は、旧国栖小学校跡地整備の事業費減少等により、前年度に比べ2億2,122万9千円(▲21.7%)減少します。
- 民生費は、老人福祉センター改修費用の増加により、前年度に比べ1億207万1千円(7.8%)増加します。
- 土木費は、定住促進住宅の整備が終了したことで、前年度に比べ1億8,242万4千円(▲43.0%)減少します。
- 教育費は、中央公民館の改修等により、3億1,734万3千円(45.3%)の増加となります。



歳出の内訳(単位:千円)

◆【基金の状況】

一般会計、特別会計の基金の状況は次のとおりとなっています。

(単位:千円)

会 計 名	平成28年度末	平成29年度末 (見込)	平成30年度末 (見込)
一般会計	1,614,408	1,497,583	1,162,329
財政調整基金	931,632	813,126	564,397
減債基金	228,318	234,472	169,845
その他基金	454,458	449,985	428,087
介護保険	100,517	107,743	97,760
農業集落排水事業	17,616	12,666	12,716
合 計	1,732,541	1,617,992	1,272,805

◎ 基金の増減理由

- 一般会計については、地方交付税の減少等に伴う歳入不足を補うため財政調整基金の取り崩しを行います。
- 介護保険事業については、保険料の上昇を抑制することを目的に基金の取り崩しを行うため、998万3千円減少します。
- 農業集落排水事業については、取り崩しは行わず、預金利息を積み立てるため、5万円増加する見込みです。
- 全会計を合わせると、平成30年度末には前年度末に比べ3億4,518万7千円の減少となる見込みです。

◆【地方債現在高】

一般会計、特別会計、企業会計の年度末地方債残高は次のとおりです。

(単位:千円)

会 計 名	平成28年度末	平成29年度末 (見込)	平成30年度末 (見込)
一般会計	5,612,988	5,971,205	6,215,632
下水道事業	2,009,093	1,895,705	1,799,925
農業集落排水事業	180,106	166,706	152,064
水道事業	2,670,339	2,597,770	2,549,697
合 計	10,472,526	10,631,386	10,717,318

◎ 地方債残高の増減理由

- 一般会計については、老人福祉センター及び中央公民館改修などの財源として新規借入を行うため、平成30年度末には前年度末に比べ2億4,442万7千円増加する見込みとなっています。
- 下水道事業、農業集落排水事業及び水道事業については、新規借入額に比べ償還額が多くなることを見込まれるため地方債残高は減少する見込みです。
- 全会計を合わせると、平成30年度末には前年度末に比べ8,593万2千円の増加となる見込みです。